

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	市民課	事業No.	49
事務事業名		飯田市新生児育児応援支援金給付事業【新規】	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	R2	終了
					R3
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等			飯田市新生児育児応援支援金交付事業実施要綱	
事業目的	対象	令和2年4月28日（特別定額給付金基準日の翌日）から令和3年4月1日までに生まれた子ども			
	意図	新生児一人あたり50,000円の飯田市新生児育児応援支援金を世帯主に対し給付する			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	・特別定額給付金給付事業は、令和2年4月27日（基準日）に飯田市に住民登録されている方が給付の対象であり、基準日後に出生した新生児は給付の対象になりませんでした。そこで、コロナ禍において、子どもが生まれた世帯を対象に、感染への不安を抱きながら育児している心理的負担を緩和して育児に励んでいただくため、また、そのことにより、地域にとっても大切な子どもの健やかな成長を応援するため、支援金を給付しました。 ・対象者は令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した子どもで、出生後最初の住民登録が本市であり、申請時においても継続して市内に住民登録をしている者です。		消耗品費				26
			印刷製本費				13
			通信運搬費				148
			手数料				61
			システム改修業務委託料				2,985
			飯田市新生児育児応援支援金交付金				29,250
			その他の経費				0
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	
	給付対象人数（3/31までに申請書提出者）	人				585	
	給付済み人数	人				585	
2年度決算(千円)	予算額	38,794	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	32,483	(国) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				
	財源の状況	国庫支出金	32,183	2→3 繰越明許費 3,000千円			
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	300						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	18	10	2	38,794	32,483	飯田市新生児育児応援支援金事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・給付対象者を同じ学年としたことから、令和3年4月1日生まれの者までを対象としました。4月1日生まれの者は、令和3年度当初予算で対応します。 ・出生届提出までに時間を要するため、申請期限を4月30日までとしました。この事業の申請受付が令和3年4月に及ぶため、今後申請見込みを60名と試算し、令和3年度へ向け3,000千円の繰越明許費を予算化します。							
上記の課題解決のための有効策		・市民課で出生届を受理したら、該当世帯主に対して速やかに申請書を送付し、4月30日までの申請が間に合うようにします。							
次年度に向けての取り組み		・給付対象者に対して、速やかに申請書を送付、申請書提出を促進し、給付事業を遂行します。							